沖永良部民謡について

--- 第12報 手々知名(和泊町)における調査 ---

On the Folk Songs of Okinoerabu-jima, the Ryukyu Islands, Japan —12th. Survey in the Area of Tedechina (Wadomari-cho)—

鹿児島女子短期大学 前原 隆鋼 せりよさ文化研究所 永吉 敏人

I はじめに

研究目的は、第1報(1999)に記載したので、本稿では割愛する。

曲の採譜と音階分析については前原が、三味線奏法と歌詞については永吉が責任を分担する。

Ⅱ 調査の概要と研究の方法

今回の報告は2002年3月に実施した和泊町手々知名における土橋為三氏の演奏・演唱によるものである。録音にあたっては、採譜を正確にする目的で、最初に三味線を、次に歌のみを、最後に歌と三味線を採録した。調査後、録音したテープから採譜し、採譜した譜を再度ピアノで再現録音し、2009年9月の確認調査で、土橋氏に再度聞いていただき、一部修正して最終稿とした。各曲の冒頭に音階構成を付記する。第1報と同様に、小泉文夫氏の日本音階論を参考にして民謡のテトラコードを民、律のテトラコードを律、琉球のテトラコードを琉、呂旋法を呂、えらぶ的ドミソ音型をえらぶと略記する。歌詞のハヤシの部分はカタカナで表記し、歌い手以外のハヤシを「」で表記する。

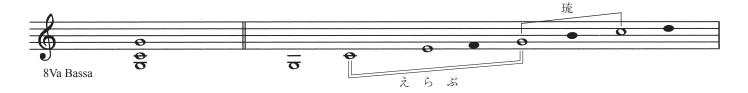
また、三味線譜の下に数字記号を記載する。これは永吉が考案した三味線奏法の記譜法である。1980年、畦布集落の子どもたちに「如何にしたら三味線の勘所を速く押さえることが出来るか」という目的で考案したものである。五線譜を見て音の高さと長さを想定しながら、容易に勘所を押さえることが出来る。詳しくは第2報のIV項参照。

尚、三味線譜には清村杜夫氏の記譜法を参考にして、曲頭ト音記号の下に 8 Va Sempre Bassa を記載する。

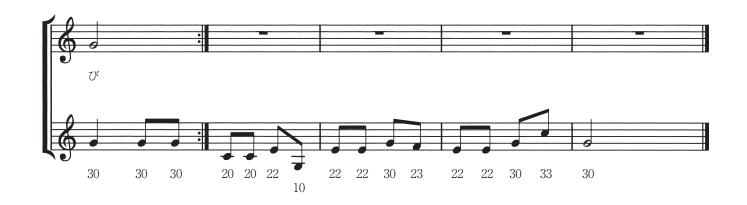
Ⅲ 調査内容

1. 子 守 歌

※実音は完全5度上本調子・指間Ⅱ ↓ ≒88





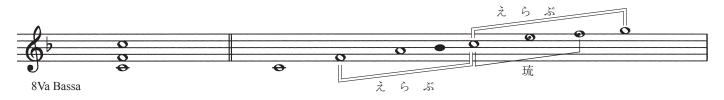


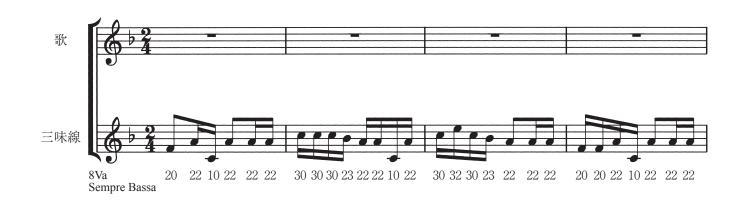
1. 子 守 歌

なくなくな なくな たがなきでぃ いちよ わがむらば にぶり ヨーヒーヨ わらび (泣くな泣くな 泣くな) (誰が 泣けと 言ったのか) (私が守をするから 寝なさい) (ヨーヒーヨ 童)

2. サイサイ節)

※実音は長2度上本調子・指問Ⅱ 」 = 56







2. サイサイ節

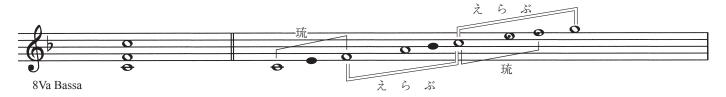
ていち おいしり すなちぬしゅ スリ なあていーち おいしり すなちぬしゅ サイサイサイ サイムチク ヌディ アシバ

(1杯 召し上がってください)(土持の主 スリ)(もう1杯)(召し上ってください 土持の主)(サイサイサイ 酒を持ち合い)

(飲んで遊ぼう)

3. イシンチゲ

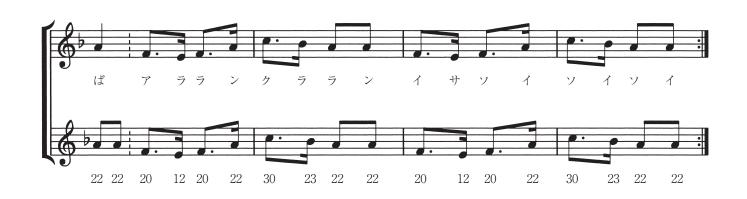
※実音は長2度上本調子・指間Ⅱ 」 = 104

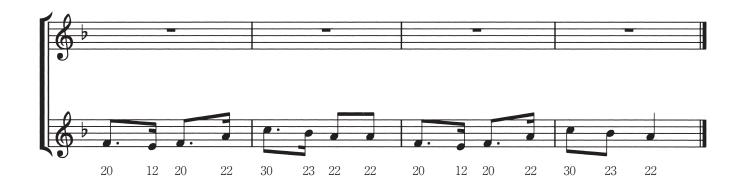












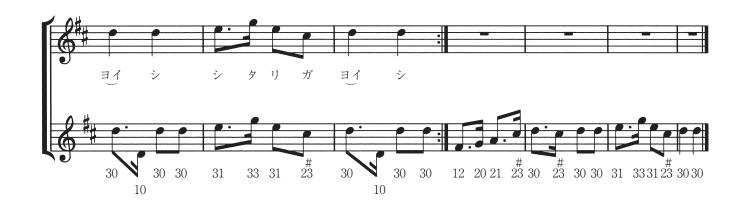
3. イシンチヂ

いしんちぢ ぬぶてぃ ヨイスラ いしんちぢ ぬぶてぃ ヨイスラ まへむこてぃ みりば アララン クララン イサソイ ソイソイ (石の頂上に 登って ヨイスラ)(石の頂上に 登って ヨイスラ)(真南を 向って見ると)(アララン クララン)(イサソイ ソイソイ)

4. ハルヌウチマミ







4. ハルヌウチマミ

①はるぬうちまみよ

くるまぼうに まかるよ

ヌガヤルヤール

イチリガヨイシ シタリガヨイシ

②うちまかてい うたるよ

まみがなし うたるよ

ヌガヤルヤール

(畑の打ち豆はヨー)

(車棒に 打たれるよ)

(ヌガヤルヤール)

(イチリガヨイシ シタリガヨイシ)

(打って 打たれるよ)

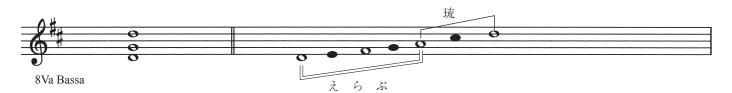
(豆は 打たれるよ)

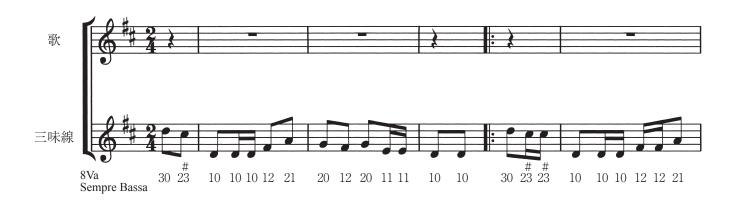
(ヌガヤルヤール)

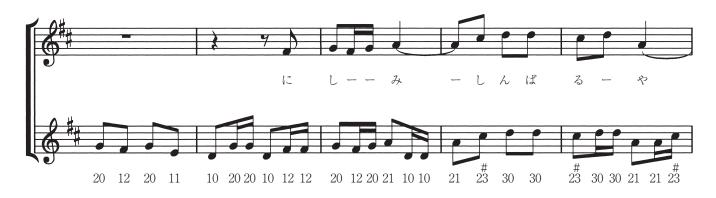
イチリガヨイシ シタリガヨイシ (イチリガヨイシ シタリガヨイシ)

5. ニシミ チュッキャリ節

本調子・指間Ⅱ J ≒72



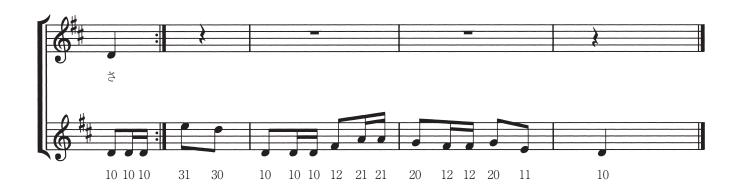












5. ニシミ チュッキャリ節

にしみ しんばるや みじゆいがやゆら (西目のシンバルでは、水のせいなのか)

ヨイショ みじがやゆら

(ヨイショ 水のせいなのか)

ちゅだてぃ みやらびぬ

(年頃の娘さんは)

するていよ ちゅらさ

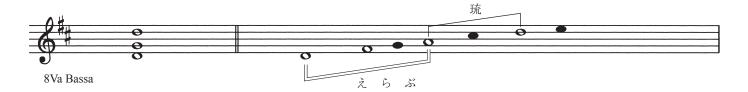
(揃って、美しい)

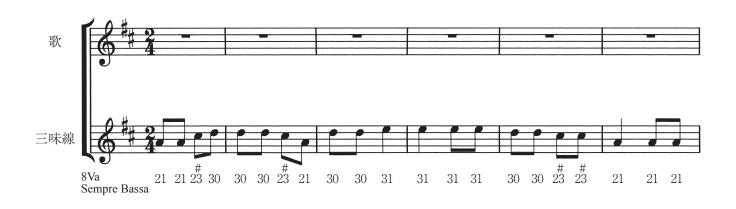
ヨイショ するていよ ちゅらさ

(ヨイショ 揃って、美しい)

6. 手々知名の遊び踊り一(1) ーディッシュイー

本調子・指間 I 」≒116

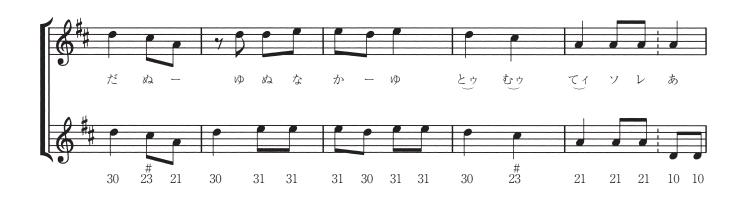


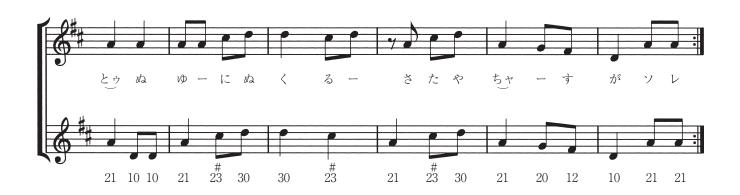












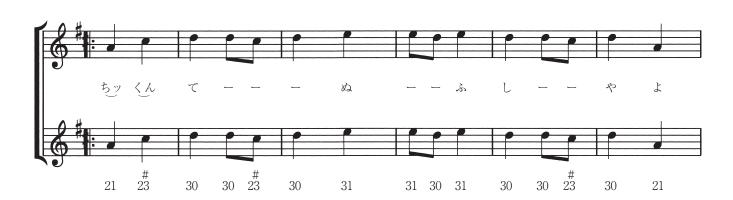
6. 手々知名の遊び踊り一(1) ディッシュイ

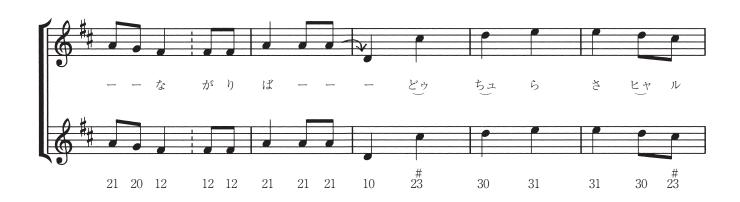
- ①でいっしゅい はじゅみたていたが はじゅみたがね ソレ ながし ちゅらうとうじゃぬ はじみがねや ソレ
- ②いきちうるえだぬ
 ゆぬなかゆ とうむうてい ソレ
 あとうぬ ゆにぬくる
 さたや ちゃすが ソレ
- ③ローソクぬあかり しんからどう ていらす ソレ すとうや ながりていむ くくる ひかてい ソレ

(手習いを 始めたのは)
(誰が 始めたのかね ソレ)
(昔 美しい兄弟が)
(始めがねや ソレ)
(生きている間の)
(世の中と思って ソレ)
(後の世に残る)
(沙汰は どうするか ソレ)
(ローソクの灯りは)
(芯から 照らす ソレ)
(外に 流れても)
(心は 光る ソレ)

6. 手々知名の遊び踊りー(2) ーチクテン節ー







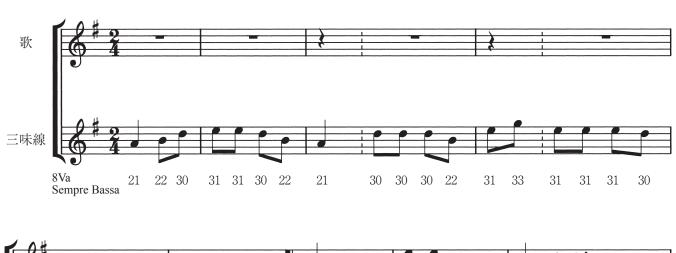


6. 手々知名の遊び踊り一(2) チクテン節

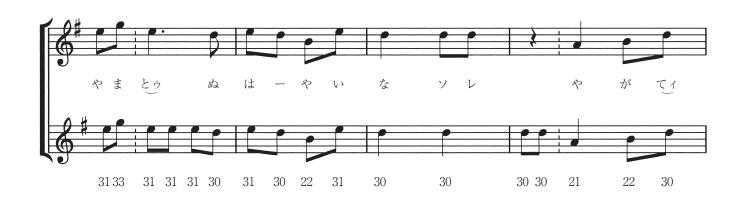
①ちっくんてぬ ふしやよー (チクテンの 節はよー) (流れれば 美しい) ながりばどう ちゅらさ ヒャル ヒャールイ (ヒャル ヒャールイ) チャースガ ヒャールイ (チャースガ ヒャールイ) (はやると 美しいよ) はやいてい ちゅらさよー はやいて スリ (はやって スリ) テン テン ヨーテンテン (テン テン ヨーテンテン) シタリガ テンテン ヨーテンテン (シタリガ テンテン ヨーテンテン) ②はじしらぬ むぬやよー (恥を知らぬ 者はよー) うまうしぬたぐい (馬、牛のたぐい) ヒャル ヒャールイ (ヒャル ヒャールイ) チャースガ ヒャールイ (チャースガ ヒャールイ) たとうい ひとうなみぬよー (たとえ 人並みのよー) (姿であっても スリ) しがたあてぃむ スリ テン テン ヨーテンテン (テン テン ヨーテンテン) シタリガ テンテン ヨーテンテン (シタリガ テンテン ヨーテンテン) ③にしき いとうぎぬやよー (錦、糸衣やよー) すとうがわぬ かざり (外側の 飾り) ヒャル ヒャールイ (ヒャル ヒャールイ) チャースガ ヒャールイ (チャースガ ヒャールイ) くくる みがちゅしどうよー (心を 磨くのがよー) ひとぅや ねうち スリ (人の 値打ち スリ) テン テン ヨーテンテン (テン テン ヨーテンテン) シタリガ テンテン ヨーテンテン (シタリガ テンテン ヨーテンテン)

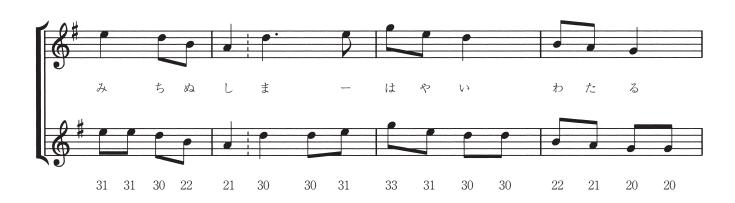
6. 手々知名の遊び踊りー(3) ードンドン節ー













6. 手々知名の遊び踊り一(3) ドンドン節

①むかし ドンドンぶし やまとうぬ はやいな ソレ やがてい みちぬしま はやいわたる (やがて 道の島に はやりわたる) アラドンドン マタ イトゥスガネ

②たかいやまから たにすく みりばな ソレ

うりや なすびぬ はなざかり アラドンドン マタ イトゥスガネ

③うちぬ とうなかに

たいまつ とうぶちな ソレ ぬぶいくだりぬ ふにどう まちゅる

(昔 ドンドン節は)

(大和の はやりな ソレ)

(アラドンドン マタ イトゥスガネ)

(高い山から)

(谷底を 見ればな ソレ)

(瓜や茄子の 花盛り)

(アラドンドン マタ イトゥスガネ)

(うちの 渡中に)

(松明を 灯して ソレ)

(上り下りの 船を 待っている)

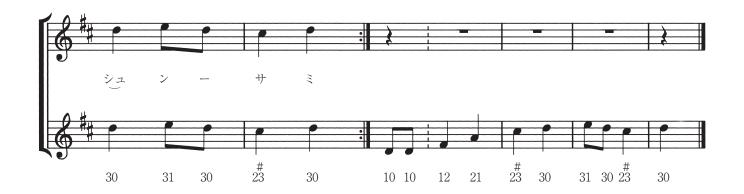
アラドンドン マタ イトゥスガネ (アラドンドン マタ イトゥスガネ)

6. 手々知名の遊び踊り一(4) ーシュンサミー

本調子・指間 I J ≒116







6. 手々知名の遊び踊り一(4) シュンサミ

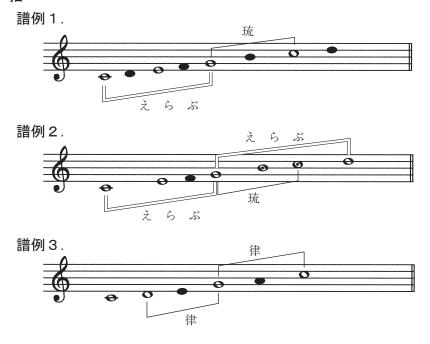
- ①ほたる あちみていどう すぐりむぬに なたる シュンサミ シュンサミ
- ②ランプ ひるなちゅてい ゆだん するな するな シュンサミ シュンサミ
- ③むかし かみゆから しちうたる ていぶり ていぶり シュンサミ シュンサミ
- ④わしりらん たみにしらんにゃ ちゃすが ちゃすがシュンサミ シュンサミ

(蛍を集めて)
(優れ者に なった)
(シュンサミ シュンサミ)
(昼行灯で)
(油断 するな するな)
(シュンサミ シュンサミ)
(昔 神代から)
(やっていた 手振り 手振り)
(シュンサミ シュンサミ)
(忘れない ために)
(やらなきゃ ちゃすが ちゃすが)

(シュンサミ シュンサミ)

-58 -

Ⅳ 総 括



今回採譜した手々知名地区、土橋為三氏の演唱・演奏による9曲について、音階構成を 考察する。

前項で、各曲に音階構成を付記してきたが、採譜した9曲中、8曲は、ドミソ音型と沖縄のテトラコードがコンジャンクトした音型で構成されている。この8曲を、今回は、譜例1.と譜例2.の型に分けた。譜例2.は、杉本信夫氏による沖永良部の音階(沖縄県立芸術大学紀要第6号)と琉球のテトラコードが混合した音型である。この2つに、律のテトラコードがコンジャンクトした音型による1曲をくわえ、次の3つに分類した。

イ、「子守歌」「ハルヌウチマミ」「ニシミチュッキャリ節」「ディッシュイ」「シュンサミ」 : 譜例 1.

ロ、「サイサイ節」「イシンチヂ」「チクテン節」: 譜例2.

ハ、「ドンドン節」: 譜例3.

手々知名の遊び踊りに含まれる「ディッシュイ」「「チクテン節」「ドンドン節」「シュンサミ」の4曲は、我々の調査では始めての収録であり、大きな収穫であった。土橋氏によれば、この4曲は、太鼓のみで伴奏されるのが一般的であるが、今回は三味線伴奏で演奏したとのことである。土橋氏は、92歳の高齢にもかかわらず、現在も矍鑠とした演奏を続けておられる。素晴らしい演奏に触れ得たことと、録音から確認調査まで快くご協力いただいたことに、深甚の謝意を表する。

最後に、12年もの間、同一のテーマで共に調査を続けてこられた永吉敏人氏が、平成21年3月に他界された。本稿は、遺族の了承を得て、永吉氏の資料と手法を参考にしながら、2人の共同研究として前原が纏めたものである。本稿を、感謝と敬意込めて、永吉敏人氏の御霊に捧げる。

参考文献

- ・南日本民謡曲集 久保けんお著 1960
- · 沖永良部民謡集 知名町中央公民館 1974
- ・日本の音楽 一歴史と理論― 小泉文夫著 1979
- ・鹿児島におけるこどもの伝承文化の研究 —和泊町のわらべ歌と遊び— 鹿児島女子短期大学紀 要第16号 日高良廣・前原隆鋼 1981
- ・鹿児島におけるこどもの伝承文化の研究 —知名町のわらべ歌と遊び— 鹿児島女子短期大学紀 要第17号 日高良廣・前原隆鋼 1982
- ·和泊町誌·民俗編 和泊町 1984
- ・奄美の音楽「三弦」「ユタの"おもり"」奄美郷土研究会報第24号 清村杜夫 1984
- · 沖永良部民謡集 吉田三味線楽譜研究所 1985
- ・奄美の遊び歌楽譜集 —日本民謡大観 奄美諸島篇補作— 東京藝術大学民族音楽ゼミナール編 1991
- ・えらぶの歌心(米寿遺稿) 武田恵喜光 1991
- ・沖永良部五つの歌曲 沖縄県立芸術大学紀要6号 杉本信夫 1998
- ・沖永良部民謡について 一第1報 喜美留地区(和泊町)および住吉地区(知名町)における調査―南九州地域科学研究所報第15号 pp.57~108 前原隆鋼・永吉敏人 1999
- ・奄美シマウタへの招待 小川学夫著 1999
- ・沖永良部みんようについて 一第2報 正名地区(知名町)における調査— 南九州地域科学研 究所報第16号 pp.15~88 前原隆鋼・永吉敏人 2000
- ・沖永良部民謡について —第3報 和地区(和泊町)における調査— 南九州地域科学研究所報 第17号 pp.15~75 前原隆鋼・永吉敏人 2001
- ・沖永良部民謡について 一第4報 和泊地区(和泊町)における調査— 南九州地域科学研究所 報第18号 pp.13~85 前原隆鋼・永吉敏人 2002
- ・沖永良部民謡について —第5報 上城地区(知名町)における調査(1)— 南九州地域科学 研究所報第19号 pp.1~23 前原隆鋼・永吉敏人 2003
- ・沖永良部民謡について 一第6報 上城地区(知名町)における調査 (2) 一 南九州地域科学 研究所報第20号 pp.11~33 前原隆鋼・永吉敏人 2004
- ・沖永良部民謡について 一第7報 玉城地区(和泊町)における調査— 南九州地域科学研究所 報第21号 pp.11~32 前原隆鋼・永吉敏人 2005
- ・沖永良部民謡について —第8報 知名地区(知名町)における調査 [1]— 南九州地域科学 研究所報第22号 pp.1~27 前原隆鋼・永吉敏人 2006
- ・奄美のわらべ歌と遊び I ―与論島・沖永良部島・徳之島編― 日高良廣・前原隆鋼 2006
- ・沖永良部民謡について —第9報 知名地区(知名町)における調査 [2]— 南九州地域科学 研究所報第23号 pp.66~89 前原隆鋼・永吉敏人 2007
- ・沖永良部民謡について —第10報 国頭地区(和泊町)における調査 [1]— 南九州地域科学 研究所報第24号 pp.65~91 前原隆鋼・永吉敏人 2008
- ・沖永良部民謡について —第11報 後蘭地区(和泊町)における調査— 南九州地域科学研究所 報第25号 pp.35~57 前原隆鋼・永吉敏人 2009

(平成21年11月30日 受理)